

高二 古文

第三回 小テスト

出題範囲

古文単語

330

31 から 45

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 今日、風、雲の気色はなはだ悪し。(土佐日記)

- ①動き
- ②流れ
- ③機嫌
- ④様子

2 暮るるまで御物語したまひて、大宮も渡りたまひぬ。(宇津保物語)

- ①祈り
- ②物語
- ③話
- ④遊び

3 月に二度ばかりの御契りなめり。(源氏物語)

- ①契約
- ②逢瀬
- ③間隔
- ④因縁

4 年ごろ思ひつること、果たし侍りぬ。(徒然草)

- ①長年
- ②この年になって
- ③今年
- ④最近

5 大江山いく野の道の遠ければまだふみも見ず天の橋立(十訓抄)

- ①使者
- ②手紙
- ③贈り物
- ④心遣い

5
〔
〕

4
〔
〕

3
〔
〕

2
〔
〕

1
〔
〕

6 薬も食はず。やがて起きもあがらで、病み臥せり。(竹取物語)

- ①そのまま ②どうしても ③やはり ④じつと

7 よろづのことよりも情けあるこそ、男はさらなり、女もめでたくおぼゆれ。(枕草子)

- ①縁故 ②思いやり ③遊び心 ④人望

8 ほど経にければ使なし。(蜻蛉日記)

- ①うわさ ②一日 ③見通し ④時

9 月明ければ、いとよくありさま見ゆ。(土佐日記)

- ①しだいに ②それでも ③とても ④なるほど

10 明けぬれば暮るるものとは知りながらなほ恨めしき朝ぼらけかな(後拾遺和歌集)

- ①なにより ②それゆえに ③やはり ④そうはいつでも

10
〱
〱

9
〱
〱

8
〱
〱

7
〱
〱

6
〱
〱

